

活動報告（9月レポート）

担当：農村整備課

表題：浜松市北区引佐町で県立農林環境専門職大学農山村デザイン演習を行いました

日時：令和5年9月11日（水）～13日（水）、15日（金）

場所：静岡県浜松市



（参加者の顔合わせ）



（作業道の整備）



（ドローンの操作体験）



（棚田で記念撮影（ドローン撮影）

9月11日（月）～13日（水）、15日（金）の4日間、浜松市北区引佐町で、県立農林環境専門職大学の農山村デザイン演習を行いました。本演習では、果樹・花き・いちご・お茶の生産に関心を持つ学生が、農山村地域で地域住民や関係機関との交流を通して、地域の現状や課題への理解を深め、地域とともに課題解決方法を考える力の習得を図ります。

対象地域での受入れは2年目で、今年は学生6名、教員、地域の代表者（観

光協会・農家)、浜松市(農地整備課・農業水産課)、西部農林事務所農村整備課、株式会社フジヤマが参加しました。

11日(月):引佐協働センターで、参加者の自己紹介、各関係機関から浜松市の農業・県のみらいプラン・白檀の棚田の概要について説明を行い、都田川ダムに移動後、ダムの役割の説明や監査廊の見学を行いました。

12日(火):竜ヶ岩洞で県からソフト事業、市から多面的機能支払交付金、地域から白檀の棚田の復田への流れや棚田の関係・交流人口について説明後、引佐町のいちご農家を見学しました。

13日(水):引佐町の花木農家と畜産農家を見学しました。

15日(金):令和4年度に白檀の棚田と一社一村しずおか運動の協定を結び、UAV(ドローン)撮影による情報発信や草刈り等で地域貢献に取り組む(株)フジヤマからUAVの説明があり、白檀の棚田でドローンの操作体験を行いました。午後から、イノシシや豪雨の影響で土砂が堆積した作業道を参加者一同で整備しました。最後に、竜ヶ岩洞で演習の感想を交わしました。

学生から、今回の演習を通して農村環境の整備の大変さ、棚田の美しさ、県・市の事業や人と人の繋がりの大切さを知ることができたと感想をいただきました。

今後、10月後半に棚田の稲刈りや関係機関へのヒアリング等を経て、3月8日に同大学で成果報告会が予定されています。

西部農林事務所では、地域の魅力を発信し、農山村地域の地域活性化に向けた取組を推進します。